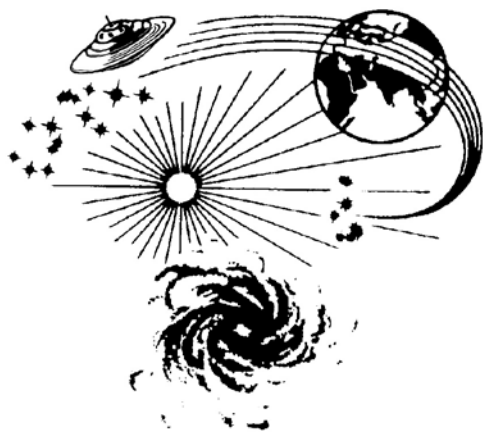


FIGU-Landesgruppe Japan



# フィグ・ヤーパン通信

第 49 号

FIGU-JAPAN BERICHT, Nr.49

発行日 2012 年 1 月 1 日

発行 フィグ・ヤーパン <http://jp.figu.org/>

## 新年のご挨拶

謹んで、新年のご挨拶を申し上げます。昨年は、3月に東日本大震災とそれに続く福島第一原子力発電所の事故が発生し、忘れることのできない年となりました。犠牲になられた方々に心から哀悼の意を表します。また、今なお復興に向けて努力されている方々にもお見舞いを申し上げます。

フィグ・ヤーパンでは、ビリーの著作の中でも最も重要な一冊とされる『真理の杯 (Kelch der Wahrheit)』の翻訳を進めてまいりました。この書籍の翻訳継続には、ビリーやFIGUスイスの友人たちをはじめ日本の多くの読者の皆様からご支援をいただいております。そして現在も、翻訳者と原著者ビリーとの綿密なやり取りを行いながら順調に作業が進められています。その結果、暫定訳として、一部の翻訳成果を出版に先だって本誌『フィグ・ヤーパン通信』等において公開開始したところです。今年も引き続き、『真理の杯』の翻訳を最優先課題として翻訳作業を進めていく予定です。こうした都合上、プレアデス/プレヤール人とのコンタクト記録シリーズの翻訳は現在は停止していますが、時事的に公開が必要と思われるコンタクト記録に関しては、迅速に翻訳記事を公開する予定です。

フィグ・ヤーパンでは、Web ページを使った広報活動にも力を入れています。新刊書や行事の案内などの最新情報をはじめ、フィグの活動を紹介するページを作成し、随時更新しています。Web 上で書籍購入方法や料金支払い方法の改善、ページレイアウトや掲載記事内容について議論を重ねていま

す。昨年5月にスイス一般会員総会にスタッフが参加した際に撮影した、ビリーへのインタビューのビデオ映像も公開していますので是非ご覧下さい。本誌『フィグ・ヤーパン通信』は、ホームページからの無料ダウンロード配信サービスを行っています。ホームページを閲覧した方々からの書籍類の注文も増え、少しずつですが新たな読者の輪が広がりつつあります。こうしたことは、私たちにとって大きな励みになっています。

フィグ・ヤーパンが発足してから早20年が経過しましたが、これからの10年は、これまで同様に翻訳出版活動を精力的に続けていくと同時に、ミッションを通じての出会いや日本の読者の皆様方との絆を醸成する機会の創出にも努力していく予定です。この一環として、スタッフと読者が直接対話して交流する機会の創設や、第10回目となる恒例の全国読者集会を2月に開催する予定です。

フィグ・ヤーパンの活動は、スタッフの自由意思による自主的なボランティア活動によって運営されています。読者の皆様にも、翻訳校正や出版支援、本誌『フィグ・ヤーパン通信』の発送作業等を通じて、世界中で広がりつつあるFIGUのミッションにご参加いただくことができます。末筆ながら、本年が皆様にとりまして、平穏で実りある一年となりますよう、スタッフ一同祈念いたします。

平成 24 年  
フィグ・ヤーパン一同

## 第 527 回 公式会見記 (2011 年 9 月 10 日 土曜日) からの抜粋

ビリー：次に聞きたいのだが、海底地震と津波と福島原子炉破壊で死者が何人出たかについて君はなにか知っているかね？ これについてメディアでは本当のところ何が起きたのかまったくわからない。君たちは予告をしなくなったので、このような事柄について真理を反映した情報も得られなくなってしまった。君たちは福島原発事故を記録なり解明なりしていただくか？

プター：確かにした。というのも福島の出来事は予視によってすでに 80 年以上前に知られていたからだ。そのようにわれわれが過去に行った予視については、引き続き観察して、解明、記録、予視を行っている。死者は約 22000 人だった。

ビリー：もうやっていないのかと思っていた。というのも君たちはそうした予視を今後しないということをお知らせしたからだ。

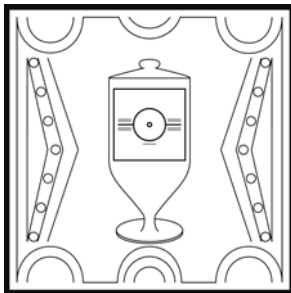
プター：まったくその通りだ。だがその対象となるのは、君を仲介して地球人に警告するために、また興味のある事柄でわれわれの関心も引いたものをそれらが生じる前に知らせるために、君のためだけにやる予視に限られる。これらの予視はもう行わず、われわれが 70 年以上前に予視によって発生することを突き止めた出来事などだけに制限している。

ビリー：君たちが予告をしなくなったのは残念だ。いまでも関心を持っている人間や、他人に警告しようと努めたり、特定の事柄や旅行を取りやめたりする人間もいるからだ。

プター：それはわかっているが、われわれの決定は変わらない。なぜなら地球の政府や学者や大部分の地球人は君やわれわれの警告を気にかけないからだ。君自身、1950 年代からずっと地球の政府や学者や地球人に何度も繰り返して警告してきたではないか。君は人口過剰の途方もない破壊的な害悪に彼らの注意を促してきたし、現代と将来の重大な自然災害、難民やテロ等々も予告してきたが、どれも実を結ばなかった。君はただ同情をこめて夢想家や世界改良家として嘲笑されただけだ。そのうえ誹謗され、嘘つき、欺瞞者、偽造者、詐欺師、いかさま師と罵られた。だがすべては君が予告し、告知した通りになった。これからも君の予告は実現するだろうし、われわれの予告もそうだ。君もわれわれも無駄な労力を払ったのだ。だれもわれわれの言うことに耳を貸さなかったのだから。だが、そのために地球人はいま誤った行動の結末、すなわち人口過剰とその結果生じる自然の破壊、異常気象、地球資源の乱獲、ますます増えるその他すべての異変を被らなければならないのだ。

(出典：FIGU 特別公報 64 号)

### 真理の杯 (暫定訳)



真理の杯のシンボル

つねに愛と平和に生き、  
地球上に自由と調和を育み、  
けっしてまことの真理を忘れてはならない。  
あなたがたの人生が絶えず良いものであるように努め、  
真の創造的存在として生きなさい。  
《真理の杯》はあなたがたを呪詛ではなく  
ひとえに祝福へと呼び起こすだろう。

セムヤーセ・シルバー・スター・センター

2008 年 7 月 13 日、3 時 21 分 ビリー

《真理の杯》には次のように書かれている。

## 根源力(創造)の法則と勧告の真理の名において

### 第 2 章 (前号からの続き)

36) 真理と疎遠で、信仰とのみ結ばれている者たちよ。あなたがたの理性と悟性は欺瞞と嘘にもとづく混乱の病にかかっている。それゆえあなたがたは自分たちに下されるかも知れない罰に対する不安な苦悶にさいなまれている。

37) 真理を騙る者や信者が地球上に不穏や不和をもたらすべきでないと言われると、彼らは自分の意図を否定し、嘘をついて欺き、偽りの宣誓をしながら武器を祝福して、戦(戦争)や人殺し(殺人)において勝利しようとする。しかも彼らは自分たちが愛と平和と協和(調和)を促す者であると主張する。

38) 真理を騙る者、真理をねじ曲げる者、狂信的な信者に用心しなさい。というのは彼らが不穏をもたらし、非情と不和と不自由を生み出すからだが、彼らはそのことを理解していない。

39) あなたがたはみな誤った思念から抜け出て、真の告知者・預言者の指示に従いなさい。あなたがたを恐怖が襲わないように、そしてあなたがたが悲しまなくてもすむように。

40) 真理を騙る者や真理を偽造する者、知ったかぶりや信者に、まことの真理だけが重要であり、まことの真理を得ようと務めるべきだと言うと、彼らは真理に向かおうとはせず、相も変わらず嘘と偽造、真理の反駁と妄信にひたって生きる。それは彼らが愚か者だからである。もしあなたがたが彼らの愚かさ(無分別)を知らないなら、彼らに用心すべきだ。

41) あなたがた(人間)は、創造者(創造)が昔からあなたがたに示し、これからも示し続ける恵みを忘れてはいけない。あなたがたの人生が豊かに満ち足りて長く続くように、そしてあなたがたが自分自身と、根源力(創造)の法則と勧告の成就に保護を見出すように、創造者(創造)との契りを履行しな

さい。

42) 真理について、創造者(創造)が創り出してあなたがたの地球に贈ったすべてのものに精通しなさい。そしてあなたがたが真理を知ることを拒み、創造者(創造)の印(比類なきもの)を安値で売ると、あなたがたの間に将来にわたってどのような非道がはびこるか確認しなさい。

43) 信者、知ったかぶり、敵対者、真理を騙る者、真理をねじ曲げる者が真理を意識する者に出会うと、自分たちも真理と結ばれていると言う。だが同類だけになると彼らは笑って、真理を知る者をからかっているだけだと言う。

44) 真理を意識する者をからかう者たちよ。あなたがたはみずからに不法を働いて、自分(自己)を迷妄と眩惑で罰しているのである。

45) 真理を否認する者や信者は道に迷い、誤った指導に浸っている。そのため彼らの思念と感情と行動は進化の成果と利益をもたらさない。それは彼らが自分自身と他人によって誤って導かれたことの必然的な結果であり、それによって彼らは濃い闇の中に生き、真理を見ることも認識することもできないのである。

46) 忍耐と真理に救いを探し求めることはもとより難しいが、努力する者は報われるだろう。

47) あなたがたは真理を確かに知る者に至るところで出会い、繰り返し彼らのもとへと立ち戻るだろう。

48) おお、あなたがた(人間)は、造形(創造)と、そこから創り出された外観(自然)の恵みを忘れてはいけない。その恵みなしにはあなたがたの生命は存在しえないことを忘れてはいけない。

49) あなたがたが窮地にあつて人生の前で申し開きをしなければならない時に、あなたがたと等しい者(人間)があなたがたの代役(代理人)として申し開きせず、だれもあなたがたのために執りなさず、

身代金も支払わない日を恐れなさい。

50) 真理を騙る者、信者、知ったかぶり、真理を偽造する者、真理の敵対者は、現実に対して耳が聞こえず、口がきけず、目が見えない。したがって彼らは現実のままの真理へ至る道を見出せない。

51) 信仰と虚偽はあなたがたの内に不安と死の恐怖を生む。それゆえ、あなたがたは知者となって不安と恐怖から解放されるように、真理に向かいなさい。

52) あなたがたがまことの真理の教え・霊の教え・生命の教えに向かうならば、遠い未来に良い人生を持つだろう、と預言者が約束した時のことを思い出しなさい。あなたがたはこの約束を無視して、相変わらず真理を否認する小径をさまよった。そのため今日あなたがたの内では不穏、不公正（不義）、非情、陰悪、不自由および不均整（不調和）が優勢である。それでも告知者・預言者はあなたがたを赦した。あなたがたはそれを感謝してもいいはずだ。だが、あなたがたはそれをまったく意に介さず、預言者に悪態をついた。だが預言者は、今日の日に至るまであなたがたにまことの真理を教示するために繰り返しやって来た。

53) あなたがたは神格や偶像を崇拜してますます創始（創造）から離反するから、自分で足を滑らせて自分自身に対して不正をなす、と預言者が言った時のことを思い出しなさい。あなたがたはそれを今日の日に至るまで続け、おぞましい行動を臆病にも正当化するために虚構（捏造）された神の名においてあなたがたの隣人を殺し、凶行（殺人）と兵火によって戦（戦争）をおこなってきた。

54) すべてを包括する全一の源泉（創造）の真理と愛により、天空の内界（宇宙意識）の法則性により、あなたがたの世界とすべての生命があなたがたの寢床として、空が屋根として、大地が田畑として、水が元気を回復させるものとして誕生し、食物が生産される。それゆえ源泉（創造）は神、悪霊、救済者（天使）、聖者（聖人）または協力者（代理人）と並べられてはならない。

55) あなたがたが妄信して崇拜している神格、偶像または救済者（天使）、聖者（聖人）または悪霊を創造者（創造）と並べることによって、創造者（創造）の真理をけなそうとするならば、あなたがたは根源力（創造）の法則性と自分自身に対して不埒を働いて、ことさらに悟性と理性を奪う業火の中に自分を突き飛ばすのである。

56) あなたがたは、今日に至っても真理の教え・霊の教え・生命の教えが真理であることを自分の体で、自分の思案と志向において体験し、その作用を自分の目で見て取ることができないうちはけっして預言者を信用しないと語る。だが、そのために不快な生存という落雷があなたがたを急襲する。

57) あなたがたの中の知者や無知な者、真理と結ばれている者や結ばれていない者、善良な行いを成す者や不良な行いを成す者に、真理の喜ばしいメッセージをもたらすことは愛と喜びを意味する。あなたがたのだれにとってもそのようにあるべきで、それによってあなたがたの和合（調和）の庭に花咲き、英知の小川が流れる。あなたがたが自分の庭の果実（知識）と小川の水（英知）からあなたがたと等しい者（人間）に与える時はいつも、あなたがたが根源力（創造）の法則を遵守して賢者と預言者から教えられたものを伝えているのだと語るだろう。つまりあなたがたは自分に与えられたのと同じやりかたで与えるのである。その結果、あなたがたは自分をあなたがたと等しい者（人間）として見出し、同行者となって、あなたがたであること（人間であること）を清浄に育み、そこに滞在するようになる。

58) 真の告知者・預言者および真の賢者は、教示のために比喩（比較）を与えることを、たとえそれが蚊や斑点のように小さいものであろうと蔑むことはない。なぜならそれは学ぶ者にとっても真理を知る者にとっても、比喩（比較）によって教えられ理解され得る真理について証言するからである。

59) 告知者・預言者や賢者が比喩（比較）を用いて語ることは、理解しやすいように例を言葉で説明するものである。それは学ぶ者に、無知は存続しては

ならず、あなたがたのだれも迷走者であってはならず、迷妄にそそのかされてはならず、そしてまた無知な者として糾弾されてはならないことを示す。

60) 真理と結びつけるために結ばれた契りを破り、寸断して破壊するならば、あなたがたは地球に不和をもたらし敗者となるだろう。

61) あなたがたはどのようにして創生者（創造）とその真理および法則性を否認できようか。創生者（創造）および愛と真理を生み出すその法則が実在することによってのみ、すべての生命が誕生し、死に、そして再び生まれて、学びながら完成し、いつか創生者（創造）と一つになるのだから。

62) 地球と無限に広大な宇宙にあるすべてのものを創り出したのは、いつに創生者（創造）である。創生者（創造）は真理に基礎を置く論理的な法則性によって、すべての生命と存在物を創り出して完成させた。すなわち創生者（創造）はあなたがたの内で、すべての生命形態において、そしてあらゆる存在物の中で分有されて生命の息吹をなしている。

63) 実に、知者、賢者、黒い者、黄色い者、赤い者、白い者、青い者、緑の者、そのうちのどれであろうと、造形（創造）について真の知識を持つ者は生きている間に報われて、恐怖に見舞われることも、悲しむこともないだろう。

64) 預言者がこれまであなたがたに与えた、そして将来与えるであろうものを堅持しなさい。預言者の真理の教えと、教えに含まれているすべてを自分の心にしまっておきなさい。あなたがたの生存が健全であり、あなたがたが無知から救われるように。

65) あなたがたが真理に背を向けるならば、生命の恩恵と慈愛から脱落して確実に敗者となるだろう。

66) 産出者（創造）が真理のあらゆる前提を生み出し、そうして真理は産出者（創造）の法則性によって、生命によって、そしてあなたがた自身によって正しいことが確証された。しかも、あなたがたが愛

と平和、自由と和合（調和）を生み出し、内界（意識）に精通して、英知を増大（進化）させることによって、そしてまた一切の非情と不自由と不均整（不調和）から遠ざかっており、そのために不和を引き起こすことも、あなたがたと等しい者の血（人間の血）を流すこともなく、生命をその全体において高く評価することによって。

67) 真理は、あなたがたのだれでも正しいならば、他の人間の前に立てるように公正（正義）を教える。

68) あなたがたの知識は統制されていなければならない。あなたがたは外観（自然）の法則と根源力（創造）の法則性から学んだ知識を、自分自身の究明の努力によって愛と自由、平和と協和（調和）、そして英知へと拡大すべきである。それによってあなたがたは制限されて（相対的に）全知の賢者となる。

69) 地球のあなたがたと等しい者（人間）に、真理の名において言う。あなたがたは外観（自然）の法則と根源力（創造）の法則性の秘密を究明することができる。なぜならあなたがたがそのように努力をすれば、秘密はあなたがたが不遜のゆえに見過しているものを開示するからである。

70) 地球のあなたがたと等しい者（人間）よ。あなたがたがまだ信仰を持たずにまことの真理と結ばれて、真理と疎遠ではなかった時のことを思い出しなさい。そしてあなたがたがまだ妄信によらず真理によって完遂（創造）と結ばれ、いかなる神格も礼拝していなかった状態に戻りなさい。

71) あなたがたと等しい者（人間）、地球の男と女よ、神格に屈従してはならない。神格はあなたがたと等しい者（人間）による不実であり、虚構であり、嘘だからである。彼らは偽りのより高次の偉力を捏造して礼拝することによって、妄想から信者になった。あなたがたは彼らのまねをしてはならず、彼らも、彼らが捏造した神々も崇拜すべきではない。

72) あなたがたと等しい者（人間）、地球の男と女よ、あなたがたと等しい者（同胞）に、そして当局にも

屈従してはならない。たとえ高い称号を持ち、裕福であろうと、あなたがた以上の価値はないのだから。

73) あなたがたと等しい者（人間）、男と女と子供たちよ。地球の大きな庭に滞在し、外観（自然）と動物によって与えられ、あなたがた自身の手によっても作られたすべてのものを豊富に食べ、発酵果汁を<sup>めいてい</sup>酩酊しない程度に味わい、鳥や兎から豚、牛および駱駝に至るまであらゆる動物の肉を適量食しなさい。ただ、あなたがたが不埒な者（違法者）とならないように、恥ずかしげもなく食い荒らしたり、たらふく食べたりしてはならない。

74) あなたがたと等しい者（人間）よ、悪につまずき、悪の役に立ってはいけません。さもないとあなたがたは生きている場所から追い出され、最後の日を迎えるまで追放されるだろう。

75) あなたがたと等しい者（人間）よ、自分をあなたがたの敵だと思込んでいる者たちを見過ごしなさい。たとえ彼らの醜行を公然と指摘しなければならぬ場合も、彼らに善行をなし、憎むことなく愛情を抱くように心がけなさい。けっしてあなたがたの方から他の人間を敵と見なしてはならない。なぜならあなたがたはすべてのあなたがたと等しい者（人間）に愛情を抱き、あらゆる善事において助けとなるべきだからである。

76) 熟慮すべきは、あなたがたと等しい者（人間）の<sup>すみか</sup>住処は、たとえ短い間でも地球であり、それゆえあなたがたは地球をあなたがたと等しい者（同胞）にとって有益で最善のものにして、地球を傷つけたり破壊したりすべきではないということである。

77) 自然と根源力（創造）の法則が存在しており、それらを尊重して活用すれば有用な結果が生まれる。そしてまさにそれらを遵守するならば、すべてが繁栄と成果、喜びと愛、平和と融和（調和）、そして英知へとつながる。

78) だれもが外の外観（自然）へと越え出て、その法則を認識し、そしてその指示に従うことが必要で

ある。それによって死に対する恐怖は消え失せ、生存が終わりを告げる時にだれも無理解（愚かさ）から悲しむ必要はなくなる。

79) だが、あくまでも無知にとどまり、外観（自然）の印（奇跡に満ちたもの）と、造形によって与えられた（創造によって与えられた）自然の法則を侮って嘘呼ばわりするならば、あなたがたは自分自身を罰することになる。なぜならあなたがたの人生は偽りの平和、偽りの自由と愛、無知と<sup>もうまい</sup>蒙昧、<sup>いんうつ</sup>陰鬱と不協和（不調和）に満ち、それによってあなたがたの内界（意識）の増進（発展／進化）が妨げられて止まる（停滞する）からである。

80) 地球のあなたがたと等しい者（人間）よ。太古よりこのかたあなたがたに示されてきた、そしてあなたがたの中で自然と造形（創造）によって与えられた法則と指針に従う、すべての者に供された生命の無限の善意と恵みを忘れてはいけません。

81) あなたがたと等しい者（人間）と産出（創造）および外観（自然）の法則との間には、果たされなければならない契りがある。なぜならそれを果たすことによってのみ、生と死に対して恐怖を抱く必要がないことが保証されるからである。根源力（創造）と自然の法則は、どんな場合にも成就するように形づくられている。だが、あなたがたの内に恐怖と平安のいずれが呼び起こされるかは、ひとえにあなたがたが善良か不良かによって決めるのである。

82) 根源力（創造）の法則によって創り出されたものは、天空の内界（宇宙意識）と産出（創造）により、理念から構想されて、愛に包まれて生み出されたものを確認する。だが、あなたがたは真理を拒み、知識と真理の代わりに神格への信仰に陥っている。そのために、あなたがたは自分自身と折り合いをつけて、みすばらしい信仰から解放され、あなたがたに唯一保護の手を差し伸べる真理に向かうことができないでいる。

（出典：『真理の杯』）

## フィグ・ヤーパンからのお知らせ

### □ 新刊書のお知らせ □

FIGU一般会員のマリアン・ユーリンガー・モンドリアが、メンタルな流動力について記した小冊子です。

「メンタルな流動力はどのように細胞や臓器に浸透するか？」及び、「なぜ喜びと調和は私たちにとってそれほど重要なのか？」という2つのテーマについて、筆者の考察をもとにわかりやすく解説しています。



メンタルな流動力はどのように細胞や臓器に浸透するか？  
(水瓶座時代出版刊)

ドイツ語原文対訳

装丁：A5判

頁数：36ページ

定価：200円（税込み）

重量：55グラム

### □ 翻訳出版ご支援のお願い □

フィグ・ヤーパンでは、スタッフの毎月の自主的な積み立てをおこなっており、この資金をもとに運営していますが、これだけでは翻訳出版にかかる費用が十分に確保できないため、読者の皆様からのご寄付を随時受け付けています。いただいたご支援は、すべて翻訳出版活動に使用されます。ご協力いただける際には、同封の郵便振替用紙をご利用の上、「出版支援」とご記入下さい。フィグ・ヤーパンの活動へのご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

### □ 被災された読者の皆様へ □

フィグ・ヤーパンでは、東日本大震災によって書籍類を損失された読者を対象に、これまでお求めになられたものと同等の書籍類を無償でお送りしています。該当する被災地の読者の方がいらっしゃいましたら、フィグ・ヤーパンまでお気軽にご連絡下さい。2012年3月まで受け付けています。

### □ 第10回全国読者集会 □

来る2月12日（日曜日）、今回で第10回目となる全国読者集会が、東京都新宿区の日本青年館において開催される予定です。

開催日：2012年2月12日（日曜日）

時間：13:00～16:30

会場：日本青年館会議室

東京都新宿区霞ヶ丘町7番1号

電話 03 (3401) 0101

JR総武線信濃町駅または千駄ヶ谷駅

より徒歩9分

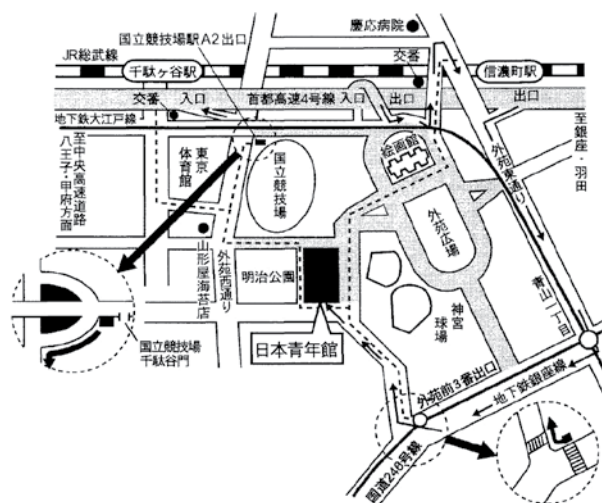
構成（変更することがあります）

- ・フィグ・ヤーパン活動報告
- ・スイス訪問取材報告
- ・ビリーへの質問と回答／インタビューの上映
- ・各スタディグループ紹介
- ・FLJ講演（創造について、気候変動について）

※ 読者集会終了後、懇親会を予定しております。

参加ご希望の方は当日受付にお申し出下さい。

### ◇ 日本青年館への案内地図 ◇



- ・JR中央・総武線各駅停車  
千駄ヶ谷駅より徒歩9分 信濃町駅より徒歩9分
- ・地下鉄銀座線  
外苑前駅より徒歩7分（渋谷寄り改札口、3出口）
- ・地下鉄大江戸線  
国立競技場駅より徒歩7分（A2出口）

## 出版物のご案内

- プレアデス／プレヤール人とのコンタクト記録(1)  
価格 2,000 円 (税込 送料別 375 グラム)
- プレアデス／プレヤール人とのコンタクト記録(2)  
価格 2,000 円 (税込 送料別 440 グラム)
- プレアデス／プレヤール人とのコンタクト記録(3)  
価格 2,000 円 (税込 送料別 335 グラム)
- プレアデス／プレヤール人とのコンタクト記録(4)  
価格 2,000 円 (税込 送料別 430 グラム)
- プレアデス／プレヤール人とのコンタクト記録(5)  
価格 2,000 円 (税込 送料別 395 グラム)
- 宇宙の深遠より—プレアデス／プレヤール人とのコンタクト  
価格 3,000 円 (税込 送料別 765 グラム)
- 心  
価格 2,000 円 (税込 送料別 440 グラム)
- 瞑想入門  
価格 3,200 円 (税込 送料別 815 グラム)
- わずかばかりの知識と知覚そして知恵(文芸社刊)  
価格 2,400 円 (税込 送料別 845 グラム)
- アラハト・アテルサータ  
価格 2,800 円 (税込 送料別 700 グラム)
- 生命の哲学  
価格 1,000 円 (税込 送料別 150 グラム)
- 日本語版 水瓶座時代の声  
価格 各 1,000 円 (税込)  
83/1 号(特集) (送料別 140 グラム)  
83/2 号(特集) (送料別 105 グラム)  
87/1 号(特集) (送料別 140 グラム)  
91/1 号(特集) (送料別 135 グラム)
- 第 235 回会見  
価格 500 円 (税込 送料別 70 グラム)
- 霊と肉体における生  
価格 500 円 (税込 送料別 70 グラム)
- ビリーの少年時代の著作  
価格 500 円 (税込 送料別 95 グラム)
- 憎しみは人間を非人間にする  
価格 200 円 (税込 送料別 24 グラム)
- **メンタルな流動力はどのように細胞や臓器に浸透するか?**  
価格 200 円 (税込 送料別 55 グラム)
- 『連想／真理の杯』(DVD:FIGU-JAPAN講演会2009ビデオ)  
価格 3,000 円 (税込 送料別 94 グラム)

新刊 !!

※ このページに掲載した以外にも多数の書籍があります。ホームページ等をご覧いただくか、フィグ・ヤーパンまでお問い合わせください。

### □ 書籍のご注文について □

すべての書籍・ビデオ類のご注文は、郵便振替にて承っております。ご希望の書籍・ビデオ代金に以下の郵便料金を加えた金額を、お近くの郵便局から下記フィグ・ヤーパンの口座宛にお振込みください。なお、現金書留および切手同封による直接のお申し込みはご遠慮ください。

### □ 郵便料金表 □

|                                       |                  |
|---------------------------------------|------------------|
| 50 グラムまで 120 円                        | 500 グラムまで 290 円  |
| 100 グラムまで 140 円                       | 1000 グラムまで 340 円 |
| 150 グラムまで 180 円                       | 2000 グラムまで 450 円 |
| 250 グラムまで 210 円                       | 3000 グラムまで 590 円 |
| ※4,000 円以上お買い上げの場合、 <u>郵送料は無料</u> です。 |                  |

### □ 振込用紙の記入欄 □

口座番号：00160-4-655758  
 加入者名：FIGU-JAPAN  
 (アルファベットで記入して下さい)  
 金額：送料を含めた合計金額  
 払込人：あなたの住所、氏名、電話番号  
 通信欄：購入する書籍名と冊数

### フィグ・ヤーパン通信 第 49 号 (無料)

発行日 2012 年 1 月 1 日  
 発行 フィグ・ヤーパン (FIGU-Landesgruppe JAPAN)  
 住所 〒192-0916  
 東京都八王子市みなみ野 3-11-2-305  
 電話 042 (635) 3741  
 FAX 042 (637) 1524  
 URL <http://jp.figu.org/>  
 E-mail [info@jp.figu.org](mailto:info@jp.figu.org)  
 郵便振替 00160-4-655758  
 加入者名 FIGU-JAPAN

本書の全部または一部を無断で複製複製することは、著作権法上の例外を除き禁じられています。本書からの複製を希望される場合は、フィグ・ヤーパンにご連絡ください。

Copyright (c) 2012 by FIGU-Landesgruppe JAPAN. All rights reserved.